

ひこね 市議会だより

令和8年3月定例会

(3月2日～3月26日)

- 3月定例会で決まったこと… 2～8
- 個人質問 …………… 9～19
- お知らせ …………… 20



彦根市議会議員研修（人権研修）

○令和8年2月18日(水) 午前10時～11時30分

彦根市議会では、市民の代表としてより研ぎ澄まされた人権感覚を養うため、年に1回人権研修を実施しています。

今回は、「その一言が議会の信頼を左右する身近に潜むハラスメントの境界線」と題して、公益財団法人 滋賀県人権センターから講師を招き、ご講演いただきました。



彦根市議会議員研修（生成A I）

○令和8年2月18日(水) 午後1時～2時30分

生成A Iに精通する市役所内部講師をお呼びし、急速に進展するデジタル技術の動向を踏まえ、生成A Iの基本的な仕組みや活用事例を実践を通して学び、議会活動や行政課題の検討にどのように生かすことができるのかを考えるのかを考える研修会としました。

3月定例会の結果

3月定例会の結果

原案のとおり
可決・承認

継続審査

予算関係19件 条例関係15件
その他の議案2件 委員会議案3件

条例関係1件

3月定例会 議案の審議結果

会期：3月2日(月)～3月26日(木)

■全員賛成で可決等した議案等

項目	番号	件名	
議案	1	専決処分につき承認を求めることについて(令和7年度(2025年度)彦根市一般会計補正予算(第6号))	
	2	専決処分につき承認を求めることについて(令和7年度(2025年度)彦根市一般会計補正予算(第7号))	
	3	令和7年度(2025年度)彦根市一般会計補正予算(第8号)	
	6	令和8年度(2026年度)彦根市休日急病診療所事業特別会計予算	
	7	令和8年度(2026年度)彦根市農業集落排水事業特別会計予算	
	8	令和8年度(2026年度)彦根市介護保険事業特別会計予算	
	10	令和8年度(2026年度)彦根市病院事業会計予算	
	11	令和8年度(2026年度)彦根市水道事業会計予算	
	12	令和8年度(2026年度)彦根市下水道事業会計予算	
	14	彦根城博物館管理運営基金の設置、管理および処分に関する条例案	
	15	彦根市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例案	
	18	彦根市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案	
	19	彦根市職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例案	
	20	彦根市手数料条例の一部を改正する条例案	
	21	彦根市立幼稚園保育料等徴収条例の一部を改正する条例案	
	22	彦根城博物館の設置および管理に関する条例の一部を改正する条例案	
	23	彦根市乳児等通園支援事業の設備および運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	
	25	彦根市介護保険条例の一部を改正する条例案	
	27	彦根市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例案	
	28	彦根市火災予防条例の一部を改正する条例案	
	29	市道路線の廃止および認定につき議決を求めることについて	
	30	令和7年度(2025年度)彦根市一般会計補正予算(第9号)	
	31	令和7年度(2025年度)彦根市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	
	32	令和7年度(2025年度)彦根市休日急病診療所事業特別会計補正予算(第1号)	
	33	令和7年度(2025年度)彦根市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	
	34	令和7年度(2025年度)彦根市病院事業会計補正予算(第3号)	
	35	令和7年度(2025年度)彦根市水道事業会計補正予算(第3号)	
	36	令和7年度(2025年度)彦根市下水道事業会計補正予算(第4号)	
	37	損害賠償の額の決定につき議決を求めることについて	
	委員会議案	1	彦根市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例案
		3	彦根市議会委員会条例の一部を改正する条例案




■ 議会に提出された報告


項目	番号	件名
報告	1	和解をすることについて
	2	損害賠償の額の決定について
	3	市営住宅の管理上必要な訴えの提起について

議案等の詳細については  [こちら](#)

▼議案一覧・議決結果



▼意見書・決議



■ 賛否が分かれた議案等

(○：賛成 ●：反対 ー：議長)

項目	番号	件名	結果	中川睦子	角井英明	八橋龍二	堀口達也	中野正剛	上杉正敏	北川元気	辻真理子	森野克彦	和田一繁	矢吹安子	小川吉則	黒澤茂樹	疋田菜穂子	伊藤容子	奥野嘉己	安澤勝	野村博雄	森田充	戸崎克司	馬場和子	長崎任男	林利幸	小川隆史		
議案	4	令和8年度(2026年度)彦根市一般会計予算	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	5	令和8年度(2026年度)彦根市国民健康保険事業特別会計予算	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	9	令和8年度(2026年度)彦根市後期高齢者医療事業特別会計予算	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	16	彦根市男女共同参画センター条例案	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	17	彦根市議会議員の議員報酬および費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例案	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○
	24	彦根市国民健康保険条例の一部を改正する条例案	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
委員会議案	26	彦根市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例案	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	2	彦根市議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例案	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○

■ 議案第13号を継続審査とすることへの賛否

彦根市職員等の職務上の行為に係る訴訟等の支援に関する条例案を継続審査とすること	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

※継続審査とは議会の会期中に審査を終了することが困難な場合に、議会の議決によって、閉会中も引き続いて委員会で審査することを行います。

このような討論がありました

議案第24号 彦根市国民健康保険条例の一部を改正する条例案

反対

子育て支援財源として医療保険料に納付金を上乗せする制度は、本来公費で賄うべきもので筋違いである。逆進性の高い保険料負担を増やし格差拡大を招く恐れもある。財源は税制改革や歳出見直しで確保すべきであるため反対。

議案第16号 彦根市男女共同参画センター条例案

議案第17号 彦根市議会議員の議員報酬および費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例案

議案第26号 彦根市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例案

反対

男女共同参画センター「ウィズ」の廃止は、市民参加と人権の拠点の喪失であり後退である。議員報酬引上げは市民理解を欠いており、市立病院の個室料引上げも患者負担に依存し本質的解決でないため反対。

議案第17号 彦根市議会議員の議員報酬および費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例案

賛成

議員報酬は21年間未改定であり、社会変化の中で多様な人材の参画を確保し議会機能を維持・向上するには見直しが必要である。引上げは最小限で、次の世代に責任ある議会を引き継ぐための必要な決断であるため賛成。

議案第17号 彦根市議会議員の議員報酬および費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例案

反対

議員報酬は既に県内で上位水準にあり、平均年収等からも増額の必要性は乏しい。財政が厳しく施策縮小が進む中で引上げは市民理解を得られず、議会が襟を正すべきで、将来の赤字見通しも踏まえ慎重であるべきと考えるため反対。

議案第4号 令和8年度（2026年度）彦根市一般会計予算

議案第5号 令和8年度（2026年度）彦根市国民健康保険事業特別会計予算

議案第9号 令和8年度（2026年度）彦根市後期高齢者医療事業特別会計予算

反対

これまでの国スポ関連など大型事業で財政が圧迫されており、行政サービスの削減、検診抑制など弱者切捨てが見られ、地域経済循環を支える施策も不十分である。さらに医療事業財源を子ども・子育て支援へ充当することは制度の趣旨を逸脱し将来不安を招く。以上の理由のため反対。

委員会議案第2号 彦根市議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例案

反対

議員定数削減は市民の多様な声を反映する機能を弱め、民主主義の質の低下につながる。人口減少下こそ声の重みは増す中、削減は弱者の声を届きにくくする恐れがあり、報酬引上げと一体の議論も市民理解を得難いため反対。

委員会議案第2号 彦根市議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例案

賛成

人口減少と財政制約の中、議員定数削減は持続可能な議会運営のための見直しである。削減により財源を生み市民生活分野へ配分可能で、市民からも議会のスリム化を求める声がある。定数22名でも議会機能は維持され、質向上の契機ともなるため賛成。

当初予算の主な事業

「人権・多文化共生」、「健康・福祉・医療・生涯学習」の分野

(仮称)図書館中部館整備事業

5億1,758万9千円

旧ひこね燦ぱれすを(仮称)図書館中部館として整備するため、令和6年度から令和7年度に実施した実施設計に基づき、整備工事を行うための経費です。



▲(仮称)図書館中部館イメージ

予防接種事業

4億 666万3千円

うち R Sウイルスワクチン等の定期接種分

3,783万8千円

感染の恐れのある疾病の発生とまん延を防止するため、新たに、妊婦を対象にR Sウイルスワクチンの定期接種を開始するほか、75歳以上の人を対象に高用量インフルエンザワクチンの定期接種を開始するための経費です。



「子育て・次世代育成・教育」の分野

民間保育所施設整備事業

3億 584万5千円

保育環境の向上を図るため、施設整備等を実施する事業者に対し助成を行う経費です。

- ・ 保育所施設整備補助金 ((仮称) 城北こども園)

地域子育て支援事業

3,618万4千円

うち チャチャチャひろば移転整備分

1,202万2千円

地域における子育て支援の充実を図るため、市内4か所の地域子育て支援拠点を運営し、うち1か所については、利便性向上のため移転する経費です。



「歴史・伝統・文化」、「観光・スポーツ」、「産業」の分野

特別史跡「彦根城跡」保存整備および維持管理事業 2億4,621万5千円 うち 防災設備整備工事関係 6,263万3千円

特別史跡「彦根城跡」内にある国宝・重要文化財建造物の適切な維持管理と活用を図るため、彦根城国宝・重要文化財建造物防災設備整備工事、表門橋上部架替工事、米蔵水門石垣積み直し工事ほか城内トイレの改修工事に係る実施設計を行うための経費です。



▲彦根城表門橋

ひこにゃんブランド推進事業 4,043万4千円 うち ひこにゃん誕生20周年関連経費分 345万9千円

ひこにゃんが誕生20周年を迎えるに当たり、話題性を高め、彦根市の魅力発信および地域活性化を促進する事業を実施するための経費です。

・誕生日特別セレモニー

彦根城内で20周年を記念した特別な誕生日セレモニーを実施します。

・ひこにゃん20周年全国ツアー

ひこにゃんの20周年を記念して、全国各地のキャラクターイベントを巡る「ひこにゃん20周年全国ツアー」を開催します。

主要なキャラクターイベントへの参加に加え、これまで訪問していない地域や交流連携協定を結んだ鹿児島市への出陣も予定しています。



▲ひこにゃん

「環境形成」、「都市基盤」、「安全・安心」の分野

ごみ焼却場一般管理事業 8億 636万円

安定安全にごみを燃やすため、施設および設備の定期整備工事を実施します。

近江鉄道沿線地域公共交通再生事業 1億 29万円

近江鉄道線の上下分離(公有民営)方式への転換に伴い、第三種鉄道事業者となった一般社団法人近江鉄道線管理機構に対し、安全輸送設備の維持修繕費用、同機構の運営費を負担するための経費です。

また、鉄道事業再構築実施計画の進捗管理や法定協議会の運営を行う近江鉄道沿線地域公共交通再生協議会へ運営費を負担します。



予算常任委員会

議案第4号 令和8年度(2026年)彦根市一般会計予算等、議案19件を可決、承認

予算常任委員会は、3月2日(月)、13日(金)、16日(月)、17日(火)、24日(火)に委員会を開催し、19件の議案について慎重に審議しました。

【審査】

- ・議案第1号、議案第2号、議案第3号、議案第4号、議案第5号、議案第6号、議案第7号、議案第8号、議案第9号、議案第10号、議案第11号、議案第12号、議案第30号、議案第31号、議案第32号、議案第33号、議案第34号、議案第35号、議案第36号

【主な質疑】

- 議案第4号に対して
 - Q 国際情勢を鑑み、湘潭市との交流について、リスクを含めて今実施して良いものか、また財政状況から今支出する必要があるのか。
 - A 来年度は35周年の節目に当たる交流であり、交流を継続することが信頼関係の維持に重要。今後の情勢を踏まえ、慎重に検討し判断する。財源は基金の積立金を活用する。
 - Q インバウンド推進事業についてターゲットなど詳細は。
 - A 本市はアジアからの来訪が多く、中でも台湾が多い。アジア地域に注力しつつ英語圏を含めPR活動をしている。観光庁・県の誘客推進事業と今後もしっかり連携して取り組むべきと認識する。
 - Q 新図書館について費用の詳細は。
 - A 図書については現図書館からの移動がかなり多く、新規図書の費用は令和9・10年度で検討したい。本棚は工事費に見込み、什器備品

はリース対応を考えている。

- Q 新図書館について、中長期的に工事費の支払い等の状況は。
- A 今回の整備は、国の補助金と起債を最大限に活用している。今後多額の起債発行による公債費や、維持管理費、人件費、図書購入費など運営経費の固定費増加が大きな負担になると見込まれる。今後市民サービス予算の抑制、既存事業の縮小や見直しなどの影響が一定生じることは避けられず、これまで以上に徹底して市全体の収支均衡を図っていく必要がある。

【主な討論】

- 議案第4号、議案第5号、議案第9号に対して
 - 反対 地方自治の役割は市民の命と健康増進に努めることであり、これまで市民と築き上げてきた事業の削減は許されない。また高齢者の年齢や所得によって利用を抑制することは、弱者の切り捨てである。後期高齢者医療制度、国民健康保険制度に子ども・子育て支援金制度を入れた増額は、物価高騰に苦しむ市民の暮らしを追い詰める。市民の暮らしに目を向けた予算であるべきで反対する。

【結果】

- ・議案はいずれも原案の通り可決

市民産業建設常任委員会

議案はいずれも原案のとおり可決

市民産業建設常任委員会は、3月18日(水)、24日(火)に委員会を開催し、2件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

- ・議案第29号、議案第37号

【主な質疑】

- 議案第29号に対して
 - Q 今回の改正は、道路交通法改正の影響があるのか。
 - A 道路法に基づく手続の一つで、道路交通法とは関係がない。
 - Q 立花船町線が市道廃止され県道となるメリットは。
 - A この路線は接続する先が南北とも県道となり、交通安全施設の整備や維持管理について、県に一体的に対応してもらえることがメリットの一つとなる。

- 議案第37号に対して

- Q サンドブラスト現象は、どれ位の期間の経過で発生するものなのか。
- A 期間については、ケースバイケースで正確なことは分からない。
- Q 漏水に対する定期的な検査の状況は。
- A 市内全域で約800kmの本管があり、毎年1年間で100kmを検査しており、8年間で一回りする。

【結果】

- ・議案はいずれも原案のとおり可決



企画総務消防常任委員会

議案第13号は継続審査、他議案は原案のとおり可決

企画総務消防常任委員会は、3月19日(木)に委員会を開催し、5件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

- ・議案第13号、議案第16号、議案第17号、議案第18号、議案第19号

【主な質疑】

- 議案第13号に対して
 - Q 条例案のどの部分に青木副市長色があるか。
 - A 規則との整理や条例のあり方を一から検討し、全体として条例案を構築・提出に至ったプロセスおよび成果そのものに表れている。
 - Q 本条例の目的は、職員が安心して職務ができる環境を整備するとあるが、条例制定のきっかけとなった事案の当該職員と面談したのか。
 - A 人事部を通して、いつでも会うとの姿勢を示しているが、一切本人から連絡がない。

○議案第17号に対して

- Q 現行の議員報酬はいつから405,000円なのか。
- A 平成15年から。

【主な討論】

○議案第17号に対して

- 賛成 議員定数削減と議員報酬増額をトータルで見た場合、金額は大きく減額されるので賛成する。

【結果】

- ・議案第13号は継続審査
- ・議案第16号から議案第19号まではいずれも原案のとおり可決

福祉病院教育常任委員会

彦根市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例案等6件を可決

福祉病院教育常任委員会は、3月23日(月)に委員会を開催し、議案6件について慎重に審査しました。

【審査】

- ・議案第14号、議案第15号、議案第21号、議案第22号、議案第25号、議案第26号

【主な質疑】

- 議案第15号に対して
 - Q 第5条の正当な理由がなければ拒否してはならないという条文について、正当な理由とは何か。
 - A 受け入れ態勢が十分かどうか等が考えられる。
- 議案第21号に対して
 - Q 使用料はどのような根拠で決めたのか。
 - A 国が示す標準的な金額で設定。
- 議案第25号に対して
 - Q 計画策定や進行評価はどのように実施するのか。
 - A 高齢者保健福祉協議会で行っていく。
 - Q 今回の改正により、どのような影響や効果があるのか。

- A これまで通り継続しつつ強化するという位置付けとなると考える。

○議案第26号に対して

- Q 今回の改正により、個室利用が減る事はないのか。
- A 設備等を丁寧に説明し、利用していただけるようにしていく。
- Q 救急等で来て入院が必要となった時に、個室しか空いていない場合はどうなるのか。
- A 減免措置等を取る。

【主な討論】

○議案第26号に対して

- 反対 患者の負担を増やすだけで、本質的な解決になるとは考えられず反対。

【結果】

- ・議案はいずれも原案のとおり可決



3月定例会個人質問

21人の議員が、市政に対する一般質問を行いました

本会議では、事前申し込みによる手話通訳を実施しています。



ライブ・録画配信の視聴について



▲彦根市議会インターネット映像配信はこちら

本会議は、ライブ・録画配信ともに映像でご視聴いただけます。また、常任委員会と特別委員会についても、ライブ配信を映像でご視聴いただけます。

配信については、左のQRコードまたは「彦根市議会インターネット映像配信」にてご覧ください。(https://www.hikone-city.stream.jfit.co.jp/)

彦根市YouTubeチャンネルでも本会議映像をご視聴いただけます。



▲彦根市YouTubeチャンネルはこちら

各議員の質問をQRコードから見る

各議員ページ右上のQRコードを読み取っていただくと、それぞれの議員の質問内容に関する録画映像配信ページにつながります。



中野 正剛議員



林野火災の新たな注意報・警報について市民に周知すべきでは



ホームページの他、機会があれば広報ひこねの特集記事に記載していきたい



その他の質問

- ・ペット用品のリユースをしてはどうか
- ・鉛製給水管全廃について

Q 彦根市での林野火災の発生状況は。

A 過去5年間では1件発生しているのみである。

Q 彦根市で大規模な林野火災が発生した時の被害想定は立てているのか。

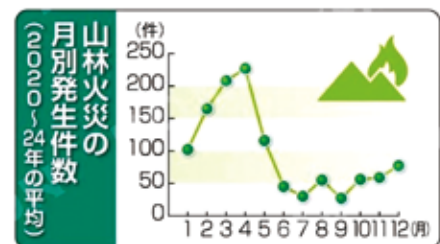
A 具体的な被害想定は立てていないが、彦根市の場合は太平洋側の地域ほど火災が大規模化する可能性は低いと考えている。加えて地形的にも山側への延焼となるため、火の手が民家に迫る可能性は低いと考えている。

Q 注意報・警報が発令された時の車両広報の方法は。

A 山麓部および平野部において消防職員が消防車両により、注意報または警報が発令されたことや、火の取扱いに注意するよう車両巡回広報を行う。

Q 広報ひこねで市民に周知すべきでは。

A 彦根市ホームページに詳しく記載しているが、令和9年の1月を目指して記載できる機会があれば広報ひこねの特集記事に記載していきたい。



▲山林火災の月別発生件数

※消防庁の資料を基に作成





伊藤 容子議員

Q 個別支援が必要な児童生徒が増加する中、教職員は充足しているのか

A 財源も限りがあり、他施策との優先度を考えながら教職員配置を要求している

Q 令和7年12月定例会の答弁で、令和7年度小学校入学生の約14%が個別支援を開始している状況が説明された。学校現場では個別支援が必要な児童生徒が増加する中、さらなる教職員の配置はあるのか。

A 市費の他、県費で教職員が配置され、学校全体で指導・支援に努めている。特別支援教育支援員について令和7年度は通年雇用41名、後期雇用8名の計49名を市内各小中学校に配置し、1校に1名～3名を割り当てている。令和8年度は、通年雇用を3名増員し、後期雇用と合わせて、計52名を配置する予定。

Q 教職員は充足しているのか。

A 財源も限りがあり、特別支援教育のみならず他の施策との優先度を考えながら、特別支援に関わる教職員の配置についても要求している。今後、学校全体で特別支援が必要な児童の支援にあたる。



その他の質問

- ・ 休日・夜間のオンライン診察について
- ・ 自治会・高齢者への支援について
- ・ 不登校児童生徒支援について



▲令和7年度「教師不足」に関する実態調査 (文部科学省)



正田 菜穂子議員

Q 緊急避妊薬へのアクセス支援は

A 既存の相談窓口の認知を広め、緊急避妊薬へのアクセス向上に努める

Q 緊急避妊薬は必要な時に相談窓口へのアクセスが分かり易いことが大切だが、学校等でアクセスを周知する方法として名刺サイズのカードの配布やトイレの個室にQRコードを掲示するなどの方法はどうか。

A カード形式による情報提供や、QRコードを用いた周知は効果的であると認識しているので、実現に向けて教育委員会と協議を行っていききたい。

Q 夜間・休日における相談窓口の状況は。

A 夜間や休日の相談には、国や県が設置する窓口があり、滋賀県の「にんしんSOS滋賀」ではLINEやメールで相談を受け付け、「性暴力被害者総合ケアワンストップびわ湖SATOCO」も24時間対応されている。本市としては、相談者が時間帯に関わらず適切な相談窓口へアクセスできるよう、周知を図っていききたい。



その他の質問

- ・ 市街化調整区域から市街化区域に編入される基準は
- ・ 地区計画を活用した地域主体のまちづくりについて



▲妊娠相談窓口「にんしんSOS滋賀」



戸崎 克司議員

Q 開国記念館周辺のカワウ対策は

A 現時点での対策は厳しいものの、有効な対策を研究し検討していく



その他の質問

- ・観光部門とスポーツ部門の総合的戦略の必要性は
- ・彦根城および周辺の観光と彦根総合スポーツ公園との連携は

Q 特別史跡彦根城内の樹木剪定による効果は。

A カワウ、シラサギが繁殖期に確認される個体数が樹木剪定の回数を重ねるごとに、生息数が一定数減少傾向にあり、抑制効果があったものと認識している。

Q 今後の彦根城内のカワウ、シラサギの対策は。

A 今後も生息状況を注視しながら、巣の撤去および巣周辺の樹木の剪定を継続的に実施するとともに、より効果的な対策について先進事例も参考にしながら、研究を進め適切な管理に努めていく。

Q 国、滋賀県とのカワウ対策の連携は。

A 広域を移動するカワウの対策は、国および滋賀県の方針との整合を図りつつ、滋賀県を中心に近隣市町や近隣府県との情報共有や連携を密に対応していく。



▲カワウの糞被害によって、白くなる瓦屋根と石垣（開国記念館周辺）



北川 元気議員

Q 政党機関紙の庁舎内勧誘行為に関する実態調査は

A 「心理的圧力を感じた」と回答した職員も一定数いる



その他の質問

- ・職員を守る条例について
- ・民主主義の根幹を守る選挙制度について
- ・田島市長の法令遵守意識と公選法違反の疑念について

Q 匿名での実態調査の進捗状況は。

A 庁内グループウェアを活用し、職員アンケートを実施した。結果は、現在集計中だが、過去5年間に勧誘を受けた経験があると回答した職員は一定数おり、「心理的圧力を感じた」と回答した職員も一定数いる。

Q 市長の見解は。

A この結果は、本市の執務環境の実態を示していると認識しており、庁舎内勧誘行為が職員に心理的負担を与え、本来の公務に集中すべき環境を阻害しているのであれば、庁舎管理規則の趣旨に照らして対応すべき課題と考える。

Q 今後の具体的な対策は。

A 勧誘行為は控えていただき、この意思表示により今後はなくなるものとする。





野村 博雄議員

Q 市民満足度向上への取組は、
しっかり推進できているか

A 見直しと改善を行い、より一層
市民に寄り添った対応に努める



その他の質問

- ・読書機会充実への取組について
- ・小中学校での歯科保健への取組の推進について
- ・幼児教育・保育への取組について

Q 市民満足度（CS）向上への取組は。

A あいさつの徹底や分かりやすい説明、丁寧な対応など「彦根市CS向上取組10箇条」を定め、また新規採用職員には接遇研修を実施している。今後も職員の意識向上を図り、より一層質の高い行政サービスの提供に努める。

Q 市民に寄り添った窓口対応は出来ているか。

A 市民の皆様が不安や困り事を抱えて来庁される事も念頭に置き、丁寧に話を伺う姿勢を基本としている。今後も市民の皆様の声を真摯に受け止め、継続的な見直しと改善を行い、より一層寄り添った窓口対応に努める。

Q 市民に寄り添った電話対応は出来ているか。

A 迅速な応答や所属・氏名の明示をし、丁寧かつ的確な説明と傾聴を基本として、安心して相談いただける電話対応を徹底する。



森田 充議員

Q 中長期財政の見通しは

A 令和11年度に財政調整基金（家庭でいう
「貯金」）が枯渇すると見込んでいる



その他の質問

- ・議案第13号 条例案の提出による心理的安全性は
- ・ふるさと納税で頂いた寄附金の使用用途は

Q 中長期財政の持続可能性について市の見解は。

A 当初予算で財政調整基金を取り崩して収支を維持しているため歳入不足が深刻化している。その結果、既存事業の削減や新たな自主財源の確保が必要となり災害対応など突発的な財政支出への対応が難しくなる見通し。

Q 市政運営、行財政改革のキーマンは。

A 持続可能な行財政運営に向けて職員一人ひとりが危機意識を共有し、前例にとらわれず主体的に改革を進めることが重要。市民との対話を重ねながら市長として市民サービスの質を守りつつ持続可能な財政運営と改革に先頭で取り組んでいく。

Q 難局を乗り越えるには職員と市長の信頼関係が最も重要では。

A 市長と職員一人ひとりが目標を共有し、相互の信頼関係を基盤として着実に改革を進めていくことが重要であると認識している。



▲持続可能な行財政運営



八橋 龍二議員

Q 災害時の障害者対応について
避難所の受入体制は万全か

A 障害のある人や高齢者が安心して利用ができる
よう、公共施設のバリアフリー化を進める



その他の質問

- ・ 障害者差別解消法について

Q 個別避難計画の進捗状況は。

A 「彦根市災害時避難行動要支援者制度」を設け、避難支援等を希望する人を登録した「災害時登録者名簿」を作成。令和8年1月末現在で2,420名登録しており、この名簿には個別避難計画に必要な内容を網羅しているため名簿登録者全員の個別避難計画を作成しているものと位置付けている。

Q 医療的ケアが必要な方への備えは。

A 人工呼吸器を装着している方には令和6年度から日常生活用具給付等事業で外部バッテリー等を追加。また人工呼吸器や酸素吸入、たん吸引など医療的ケアが必要な方については彦根保健所が中心となり難病患者や小児慢性特定疾病の方について対象者のリストアップを行い「災害時対応ノート」を作成し、本人や家族、関係機関で非常時の対応を確認し停電時の備えを共有している。



▲ 共生社会のイメージ



森野 克彦議員

Q 県立高校の入試制度の変更に伴い
今後の進路指導で注意すべきことは

A 丁寧な情報提供を行い生徒一人ひとりの
思いに寄り添った進路指導に努める



その他の質問

- ・ 給食の残食を減らすために今後どのような取組を進めていくのか

Q 県立高校の入試制度の変更に伴い今後の進路指導で注意すべきことは。

A 滋賀県における県立高校の入試制度の変更と私立高校の授業料実質無償化に伴い、入試事務について保護者から中学校への問い合わせが多くなったため、保護者連絡用ツールを活用して「よくある質問と対応」で情報を周知する工夫など、学校独自で行われた好事例について市内中学校で共有していく。また、制度の変更点などの課題について各中学校と連携しながら、より丁寧な情報提供に努め、生徒および保護者が安心して進路を選択できるよう、市教育委員会と中学校との連携を図りながら、教職員が生徒一人ひとりの思いに寄り添った進路指導に努めていく。



▲ 滋賀県立高等学校入学者選抜新制度概要説明リーフレット



上杉 正敏議員

Q 消防団組織の再編の検討をしてはどうか

A 消防団との意見交換を重ねながら検討していきたいと考えている



その他の質問

- ・国道8号交差点交通渋滞対策について
- ・電子投票導入について

Q 彦根市消防団組織の再編の検討をしてはどうか。

A 県内他市町においては、既に消防団の組織体制や団員定数の見直しを行っているところがある。本市における団員確保についても益々厳しくなると考えられ、消防団の組織や定数について何らかの検討が必要であり、分団の管轄区域の再編についても対象になると考えている。しかしながら、それぞれの地域において消防団員の確保に苦慮しているなかで、団員確保をはじめ消防団活動の各般にわたり自治会の方々には多大なご協力をいただいているなど、消防団活動については、地域との繋がりが非常に重要であることから、消防団との意見交換を重ねながら、検討していきたいと考えている。



▲春の防衛訓練に参加された消防団員



辻 真理子議員

Q 「無痛MRI乳がん検診」の更なる普及を

A 彦根市立病院において「無痛MRI乳がん検診」を実施



その他の質問

- ・令和7年度国の補正予算「医療・介護等支援パッケージ」について

Q 「無痛MRI乳がん検診」の特徴は。

A 「無痛MRI乳がん検診」は検査着を着用したまま撮影でき、個人差もあるが痛みを伴わないことが特徴である。さらに、「無痛MRI乳がん検診」はMRI（磁気共鳴画像法）による検査で、放射線被ばくはない。

Q 「無痛MRI乳がん検診」を受診された方々の評価は。

A 検診を受診された方にアンケート調査を実施しており、令和7年12月末現在、263人から回答を得ている。その中で、「無痛MRI乳がん検診を受けようと思った動機」を複数回答で聞いたところ、「痛くない検査」と答えた方が約4割、「無料」と答えた方が約3割、合計すると7割を占めている。また、「検診を受けた感想」としては、「痛くなくてよかった」、「無料でよかった」、「胸を見られることなく安心できた」等があった。



▲無痛MRI乳がん検診の様子



馬場 和子議員

Q 福祉センターを福祉の総合センターにするために民間活力の活用を

A 民間施設の活用や複合化も選択肢の一つとして総合的に検討していく



その他の質問

- ・三方よしのごみ処理施設となるよう、現清掃センター敷地内で稼働しながら温水プールを併設した新施設を建設しては

Q 公共施設の有効活用のために、各分野の関係者による民間活力活用推進のための協議会の設置を提案するが見解は。

A 持続的な行財政運営や施設運営には民間活力の活用は重要な視点である。外部会議体の設置は考えていないが、公平性・透明性を確保しながら更なる民間活力の導入を進めていきたいと考えている。

Q 現在の福祉センター本館・別館や閉鎖されたままになっている軽運動室、閉館となる男女共同参画センターなどの状況から、民設民営の福祉の総合センターにすることを提案するが見解は。

A 福祉センター本館や施設群の老朽化を踏まえ検討段階であり、民間施設の活用や複合化も選択肢の一つとして総合的に検討を重ねていく。



▲福祉の総合センター化を提案する彦根市福祉センターの全景



小川 隆史議員

Q 令和8年度予算について事業見直しは

A 事業見直しは必要不可欠だ



その他の質問

- ・公共施設等適正管理について

Q 昨年度の事業見直しと比べ、削減状況が、事業数・予算額とも減少している理由は。

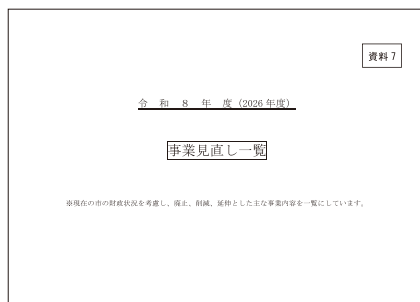
A 見直しを行う余地がなくなってきたが、毎年の事業見直しは必要不可欠と考えている。

Q フリースクールへの新たな支援として新規に取り組むこととした事業は。

A フリースクール等民間施設への業務委託として、いじめ・不登校に対する個別の相談や不登校に対する保護者への学習会開催を新たに委託することとした。

Q 県南部市町のように、企業誘致担当課が市開発許可担当課へ同行し、許可まで伴走する取り組みができないか。

A 企業誘致担当課にも情報が入ってくるので、県南部市町同様に取り組んでいきたい。



部	事業名	減額	削減	増額	増分
1	企業誘致課	4,524	16,747	0	21,271
2	観光課	0	13,281	0	13,281
3	こども課	16,946	1,791	0	18,737
4	福祉文化振興課	833	0	6,933	6,100
5	健康課	0	1,225	0	1,225
6	観光振興課	0	2,122	0	2,122
7	産業委員会事務局	61,249	3,442	0	64,691
	合計	73,748	41,288	6,933	39,393

▲令和8年度 事業見直し一覧



黒澤 茂樹議員

Q 稲枝駅西口駐輪場整備の進捗状況は

A 令和8年度中には方向性を見出せればと考えている



その他の質問

- ・インターネット上の人権侵害や誹謗中傷等への取組について
- ・沖縄県那覇市との交流について
- ・特別な教育課程の編成について

Q どのような駐輪場を整備しようと考えているのか。

A 簡易な構造では無く、不特定多数の利用者が日常的に利用することを前提とし、安全性、耐久性および雨対策等を備えた構造を考えている。

Q 予算計上せずに事業は進むのか。

A 早期整備の必要性は認識しており、民間活力導入の検討と並行し、駐輪場の整備および管理手法について検討する。

Q 長期にわたり駐輪場整備を待つ市民の思いをどう考えているのか。

A 現在、道路整備を優先して進めているが、令和元年の質問から6年以上もの間、事業化に至らず地域の皆さんに不便をかけていることは十分認識している。整備の方向性や管理手法等が決まり次第、地元の皆さんの思いを重く受け止め、速やかに進められるよう努力する。



▲稲枝駅西口仮駐輪場



長崎 任男議員

Q 学校のあり方は十分な対話と住民の理解を得ながら慎重に進めるべきでは

A 十分な議論を重ね、理解と合意を得ながら丁寧に進めて行く



その他の質問

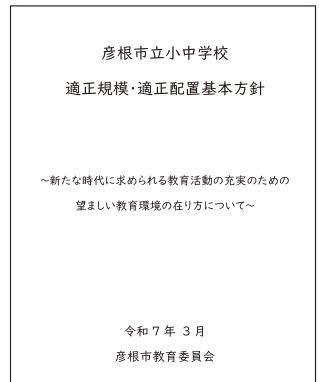
- ・ディスティネーションキャンペーンの経済効果について
- ・図書館中部館について
- ・中央館整備の具体的な条件や目安は

Q 学校が無くなることは、単に教育施設が減るということだけでなく、地域の灯が一つ消えるに等しい。子ども達の教育環境を守るとはもちろんだが、同時に地域の持続可能性をどのように確保していくのかの視点が不可欠であるからこそ、慎重に進めるべきでは。

A 今後の学校の在り方は、児童生徒にとってよりよい教育環境を整備する目的のもと、地域のつながりや活動の拠点となっている現状を踏まえ、十分な議論を重ね理解と合意を得ながら進めたい。

Q 対話による議論で住民の理解が得られない場合には、統廃合ありきではなく計画の見直しもありえるのか。

A 一方的に提案するのではなく、説得力がある話が出てくれば考え方も変わる。結論ありきではない。



▲彦根市立小中学校適正規模・適正配置基本方針



中川 睦子議員

Q 男女共同参画センター「ウイズ」の再活用はあるか

A 今後、サウンディング調査を実施し検討していく



その他の質問

- ・「ふれあいの館」の今後について
- ・学校給食の負担軽減(給食無償化)について
- ・学校給食法に基づく食育指導について

Q 「男女共同参画センター」の新たな設置場所はどこか。

A 市役所本庁舎4階の企画課内に設置する。

Q 移設後は何人でのどのような体制で対応するのか。

A センター業務に専従職員は置かず、企画課の職員が兼務し、通常8人だが、9人体制と考えている。

Q 継続する事業はなにか。

A 講座やフォーラム、相談事業については専用回線を予定している。広報紙「かけはし」は広報ひこねを活用し、図書コーナーは庁舎6階屋上展望スペースでの配置を考えている。また、自主活動団体の継続取組には支援をしていきたいと考えている。

Q 施設の再活用はあるのか。

A 市の財政負担がかからないよう、サウンディング調査を実施するなど検討する。



▲2025年 男女共同参画センター「ウイズ」

※サウンディング調査とは、市有地などの有効活用に向けた検討に当たって、活用方法等について民間事業者から広く意見、提案を求め、「対話」を通じて市場性等を把握する調査です。



堀口 達也議員

Q 田島市長の予算編成と厳しい財政状況への認識は

A 予算総額507億で過去最大であり、約10億の財源不足に財政調整基金で対応



その他の質問

- ・彦根城世界遺産登録の最大の課題は
- ・ひこにゃん誕生20周年事業の効果は
- ・産後ケア・アウトリーチ支援の実効性は

Q 田島市長の事業見直しの成果は。

A 令和8年度当初予算は507億円超の過去最大規模。法人市民税やふるさと納税は好調だが、市債償還や人件費、扶助費の増加により約10億円の財源不足が生じ、財政調整基金を取り崩して編成した。事務事業のゼロベース見直しで約1.2億円を削減したが、市民生活への影響を踏まえ慎重に判断する必要がある。

Q ふるさと納税の自主財源の財政効果は。

A 令和7年度のふるさと納税は令和8年2月末時点で約22億円、前年同時期比で約145%となっている。寄附額増加の要因として、返礼品を800点へ拡充し、検索対策や広告戦略を効果的に実施した。令和6年度実績では寄附額15.8億のうち事業経費や税流出額を差し引いても、実質約7.3億円の財政効果があった。



▲過去最大507億円！田島市政の新年度予算案





安澤 勝議員

Q 遠隔地と中心市街地を結ぶ交通手段として実用化の展望は

A 実証運行の検証や全国を取組を注視し、情報収集や研究に努める



その他の質問

- ・道路交通法改正に伴い新たに標識やサインを設置する予定や考えはあるか
- ・道路交通法改正内容の市民向け周知・広報について

Q 自動運転バスにかかった経費は。

A 県の予算額として令和6年度は事前調査費2,000万円、令和7年度は実証運行費3,600万円。

Q 遠隔地と中心市街地を結ぶ交通手段として実用化の展望について見解は。

A 乗務員の不足など公共交通の課題が顕在化する中で、自動運転技術の実用化が公共交通の維持に一定の役割を果たす可能性があることは認識しているが、自動運転の導入には多額の費用がかかるため、現段階では本市単独での実用化への検討は困難。しかしながら現在のAI技術の進展や実績の積み重ねにより、費用面や技術面への不安が解消されていくことも想像できる。今後は滋賀県で行われている、実証運行の検証や全国を取組を注視し、情報収集や研究に努める。



▲実用化に期待を寄せる自動運転バス



小川 吉則議員

Q 人生会議とは

A どのような医療やケアを望むかを家族等と話し合う取組



その他の質問

- ・こども家庭センターひこまるについて
- ・2026年衆議院選挙期日前投票について

Q 人生会議とは、どのようなものか。

A 将来の病気や介護に備え、どのような医療やケアを望むかを家族や医療・介護関係者と話し合う取組で、本人の価値観や希望をみんなで共有し、意思決定を支える継続的な対話のプロセスを指す。

Q 人生会議を行う意義はなにか。

A 人生会議を行う意義は、「本人の価値観や希望に沿った医療・介護を実現するためのプロセスを踏むことができる」点である。延命治療の希望、住まいの選択、生活の質のあり方、家族との関わりなど、何度も見直すことで、本人らしい意思決定・生き方を尊重・実現することを目的としている。本人の価値観や希望に基づき、最期までいかに自分らしく生きるか、将来の医療・介護全般について考え、話し合うプロセスを踏むことに意義があると考えられる。



▲在宅医療・介護連携推進フォーラムin湖東のチラン



奥野 嘉己議員

Q 学校のあり方の協議会について協議のスピードを上げるべきでは

A 今後の学校のあり方の協議会をスピードを上げて進める



その他の質問

- ・外部コンサルタントの現状と活用について
- ・ごみステーションの使用ルールについて
- ・期日前投票時の本人確認について

Q 児童数減少を受けて学校統合等の議論を行う「将来の学校の在り方協議会」（以下「協議会」という）の稲枝北小学校、稲枝西小学校での取組みを耳にするが、稲枝東小学校での推進が遅く感じているが見解は。

A 稲枝東小学校については、令和7年に説明を行ったが協議会設置に至らず、令和8年度に再度、協議会について説明を行い進めたい。

Q 稲枝北小学校での複式学級開始が令和11年度と見えており、時間が切迫している中、稲枝東小学校での一定の結論を目指す期限をどう考えているのか。

A 令和8年度中には一定の方向性を出すように進める。

Q 稲枝中学校区内の3小学校の協議会を合わせた拡大協議会を新年度中に開催できないか。

A まずは各小学校の協議会の中で統合の方向となったら検討する。



▲協議会の所管課



角井 英明議員

Q 自治体の役割は「稼ぐ」ことか

A 住民福祉の増進のために自主財源の確保に努める



その他の質問

- ・彦根市の少子化対策について
- ・道路空間再編社会実験事業について

Q 「稼ぐ」事業とは。

A 地域の資源を活用し、民間の力も借りて地域の活性化を達成するもので、代表的なものがふるさと彦根応援寄附事業。

Q なぜ「稼ぐ」必要があるのか。

A 大型投資事業により財政が硬直化し、住民福祉の増進には自主財源の確保が必要不可欠であるため。

Q 自治体の責務である住民福祉の増進との整合性は。

A 住民福祉の増進になる福祉、教育や生活基盤の維持等の市民サービスの実施には自主財源の確保が必要になる。

Q 循環する地域経済の確立こそ財政難を立て直す道では。

A 企業誘致等での雇用の維持・拡大、商店街等の中小企業・小規模事業所の振興で地域経済を活性化し、住民福祉の増進につなげたい。

議会運営委員会による先進地視察報告

1 1/20(火) 愛知県豊田市「オンライン委員会について」

豊田市議会では、1994年から地元ケーブルテレビでの本会議中継を開始し、録画映像配信や議員名・質問項目のテロップ表示など、市民に分かりやすい情報発信に早期から取り組んでいます。2024年からはインターネットライブ配信も導入し、字幕化システムにより聴覚障がい者への配慮も充実させています。また、感染症や災害時に備え、条例改正によりオンライン委員会を可能とし、機材準備などの運用体制を整備しています。

継続的な工夫と丁寧な議会運営は、本市にとっても大いに参考となる先進的な取組でした。

さらに、デジタル化を段階的に進めながら課題検証を重ね、着実に改善を図る姿勢が印象的であり、市民サービス向上への強い責任感を感じました。



2 1/21(水) 東京都町田市「オンライン委員会について、字幕表示の配置について」



町田市議会は議会基本条例をあえて制定せず、議会改革調査特別委員会を中心に、実践的な改革を継続して進めている点が特徴です。オンライン委員会は感染症や大規模災害時に限定して導入し、具体的な運用体制を整備しています。また、AIによる字幕表示や、議案ごとの審査経過を迅速に公開する「議会のカルテ」により情報公開を徹底し、分かりやすい発信に努めており、この取組は高く評価されています。さらに、決算審査の分割審査や一般質問時間の設定変更により、効率化と質の向上、職員負担の軽減も実現していました。

市民に開かれた議会を目指す姿勢は、本市にとっても大いに参考となる先進的な取組でした。

ぜひ傍聴にお越しください。

いつでも簡易な手続きで傍聴ができますので是非お越しください。

議場・委員会室ともに彦根市役所本庁舎5階にあります。

議場は定員45人、委員会室は定員9人です。

本会議・委員会の傍聴の仕方

- ① 議会課（本庁舎5階）で「傍聴人受付簿」に住所やお名前等をご記入ください。
- ② 傍聴者用の議案書、アンケート用紙、名札を受け取り議場または委員会室へ
- ③ お帰りの際、アンケートにご協力ください。



次の定例会は **6月**です

本会議・委員会の日程（予定）

月 日	内 容	時 刻
6月 8日 (月)	開 会	9 : 30
6月15日 (月)	個人質問	
6月16日 (火)		
6月17日 (水)		
6月19日 (金)	予 算 常 任 委 員 会	
6月22日 (月)	企画総務消防常任委員会	
6月23日 (火)	福祉病院教育常任委員会	
6月24日 (水)	市民産業建設常任委員会	
6月29日 (月)	閉 会	